

環境教育掲示用教材 解説書

東京都教育委員会では「東京都教育ビジョン（第3次・一部改定）」の中で、体験的な活動等を取り入れた環境学習を通じて、子供たちが自主的・積極的に環境保全活動に取り組むことが重要であると示しています。

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えるとともに、3Rをはじめとする環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。

本解説書では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の特徴

特徴 1

地球環境保全に関する課題を各回のテーマに設定し、児童・生徒が地球環境保全に高い関心をもち、環境に配慮した行動を促す内容を掲載します。

特徴 2

発達段階に応じた内容となるよう、小学校低学年版、小学校中学年版、小学校高学年版、中学校・高等学校版の4種類を作成します。

特徴 3

都内公立学校の全ての学級に年4回配布し、教室等に掲示することを通して、環境教育への取組を支援します。

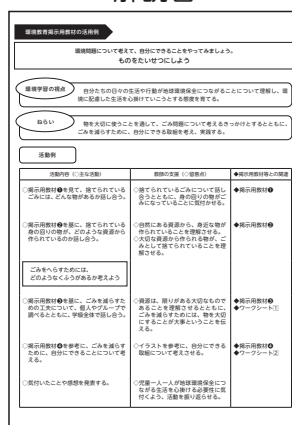
特徴 4

学校の授業等で活用できるよう、短時間の活用例等を紹介した解説書と児童・生徒用のワークシートを添付します。

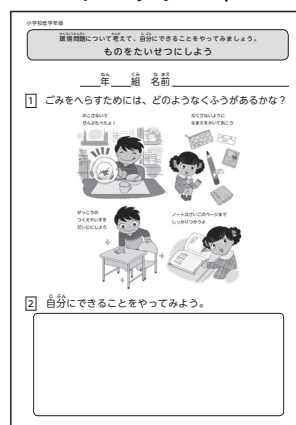
環境教育掲示用教材



解説書



ワークシート



環境問題について考えて、自分にできることをやってみましょう。

ものをたいせつにしよう

環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

物を大切に使うことを通して、ごみ問題について考えるきっかけとするとともに、ごみを減らすために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動例

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、捨てられているごみには、どんな物があるか話し合う。	◇捨てられているごみについて話し合うとともに、身の回りの物がごみになっていることに気付かせる。	◆掲示用教材①
○掲示用教材②を基に、捨てられている身の回りの物が、どのような資源から作られているのか話し合う。	◇自然にある資源から、身近な物が作られていることを理解させる。 ◇大切な資源から作られる物が、ごみとして捨てられていることを理解させる。	◆掲示用教材②
ごみをへらすためには、 どのようなくふうがあるか考えよう		
○掲示用教材③を基に、ごみを減らすための工夫について、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。	◇資源は、限りがある大切なものであることを理解させるとともに、ごみを減らすためには、物を大切にすることが大事ということを伝える。	◆掲示用教材③ ◆ワークシート①
○掲示用教材④を参考に、ごみを減らすために、自分にできることについて考える。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。	◆掲示用教材④ ◆ワークシート②
○気付いたことや感想を発表する。	◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	



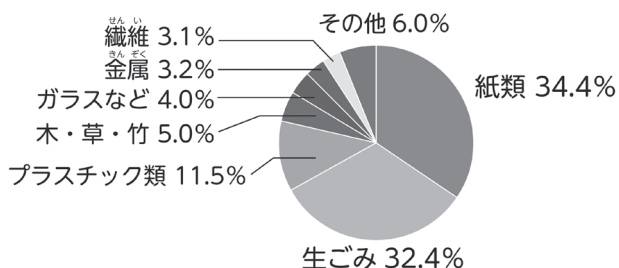
① 都内のごみ（一般廃棄物）の現状 (出典：東京都環境白書 2016)

東京都全体の一般廃棄物の総排出量は、約 450 万トンで、可燃ごみが全体の 51.0% を占めています。また、不燃ごみは 3.0%、粗大ごみは 2.0%、分別収集される資源ごみは 13.0%、持込ごみは 25.0%、集団回収ごみは 6.0% となっています。(平成 26 年)

◆ 家庭から出るごみの種類

(出典：環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査(平成 26 年度)」)

家庭から出るごみの中で一番多いのは、紙類と生ごみです。生ごみには、調理の残りくずのほか、賞味期限が切れた食品など、ほとんど手をつけていない食品も含まれます。



② 大切な資源からつくられる身の回りの物

身の回りの物は、さまざまな資源から作られています。これらは地球の限りある資源です。

石油・石炭・天然ガスなど	➡ 電気・ガス
石油	➡ ペットボトル
木材など	➡ ノート・鉛筆
小麦など	➡ パン・スパゲティ
綿花など	➡ 衣服
金属など	➡ スプーン・フォーク

③ ごみを減らすための工夫

まだ食べられるのに、ごみとして捨てられている食品は、食品ロスと呼ばれ、日本で 1 年間に約 632 万トンもあります。

これは、食べ物がなく飢えに苦しんでいる世界中の人々に、国連が援助している量の約 2 倍に相当し、1 人が 1 日に、お茶碗 1 杯分の食べ物を捨てている計算になります。

(出典：農林水産省・環境省資料、世界食料計画)

物を大切に使うことや物をなくさないようにすることで、ごみを減らすことができます。

壊れてしまい不用になって捨てる前に、修理したり直したりしてまだ使えないか考えてみることも大事です。

④ 自分にできることのヒント

- ・身の回りで、修理して使えるものに何があるか考える。
- ・家庭で出たごみは、分別して定められた場所に出す。
- ・ものをなくさないための工夫を考える。

◆ 「もったいない」は、ごみを減らす合い言葉です。

ごみの量を減らす(リデュース)・修理などして繰り返し使う(リユース)・使い終わったものを再利用する(リサイクル)という行動を 3 R (スリーアール) と呼びます。

この 3 つの環境活動を一言で表している「もったいない」という日本の言葉が、世界で共通する環境を守る言葉として広められています。

東京都の主な環境学習施設

区市町村名	施設名称	所在地	問合せ先
千代田区	リサイクルセンター鎌倉橋	千代田区内神田 2-1-8 (スポーツセンター地下1階)	03-3253-1970
中央区	中央区立環境情報センター	中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 6 階 京橋環境ステーション内	03-6225-2433
	リサイクルハウスかざぐるま明石町	中央区明石町 14-1	03-3546-2991
	リサイクルハウスかざぐるま箱崎町	中央区日本橋箱崎町 36-15	03-3668-5037
港区	港区立エコプラザ	港区浜松町 1-13-1	03-5404-7764
新宿区	新宿区立環境学習情報センター (エコギャラリー新宿)	新宿区西新宿 2-11-4 (新宿中央公園内)	03-3348-6277
	新宿区立新宿リサイクル活動センター	新宿区高田馬場 4-10-2	03-5330-5374
	新宿区立西早稲田リサイクル活動センター	新宿区西早稲田 3-19-5	03-5272-5374
文京区	水道歴史館	文京区本郷 2-7-1 本郷庁舎 2 号館	03-5802-9040
台東区	環境ふれあい館ひまわり	台東区蔵前 4-14-6	03-3866-8098
墨田区	すみだリサイクル活動センター たんぽぽ	墨田区横川 5-10-1-111 プリメール柳島	03-5611-7740
江東区	環境学習情報館 (えこっくる江東)	江東区潮見 1-29-7	03-3644-7130
品川区	品川区環境情報活動センター	品川区広町 2-1-36	03-5742-6533
目黒区	目黒区エコプラザ	目黒区目黒 1-25-26 田道ふれあい館地下1階	03-5721-2300
大田区	東京港野鳥公園	大田区東海 3-1	03-3799-5031
世田谷区	エコプラザ用賀	世田谷区用賀 4-7-1	03-3708-4081
	リサイクル千歳台	世田谷区千歳台 1-1-5	03-5490-1020
	世田谷区資源循環センター リセタ	世田谷区大蔵 1-1-12	03-5432-2929
渋谷区	渋谷区ふれあい植物センター	渋谷区東 2-25-37	03-5468-1384
中野区	中野区環境リサイクルプラザ	中野区中野 5-4-7	03-3389-0600
杉並区	環境活動推進センター	杉並区高井戸東 3-7-4	03-5336-7352
豊島区	豊島区生活産業プラザ ECO としま	豊島区東池袋 1-20-15	03-5992-7011
北区	みどりと環境の情報館 (エコベルデ)	北区豊島 5-6-1 豊島五丁目遊び場内	03-3913-8340
荒川区	あらかわエコセンター (環境学習情報センター)	荒川区荒川 1-53-20	03-3802-3111
板橋区	板橋区立エコポリスセンター	板橋区前野町 4-6-1	03-5970-5001
	板橋区立熱帯環境植物館	板橋区高島平 8-29-2	03-5920-1131
	板橋区立リサイクルプラザ	板橋区舟渡 4-16-6	03-3558-5374
練馬区	練馬区立豊玉リサイクルセンター	練馬区豊玉上 2-22-15	03-5999-3196
	練馬区立春日町リサイクルセンター	練馬区春日町 2-14-16	03-3926-2501
	練馬区立関町リサイクルセンター	練馬区関町北 1-7-14	03-3594-5351
足立区	足立区荒川ビジターセンター	足立区千住 5-13-5	03-5813-3753
	足立区リサイクルセンター あだち再生館	足立区中央本町 2-9-1	03-3880-9800
葛飾区	葛飾区かつしかエコライフプラザ	葛飾区立石 1-9-1	03-3696-8225
江戸川区	えどがわエコセンター	江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3 階	03-5659-1651

■市町村の環境学習施設については第3回で御紹介します。

編集・発行：東京都教育庁指導部義務教育指導課

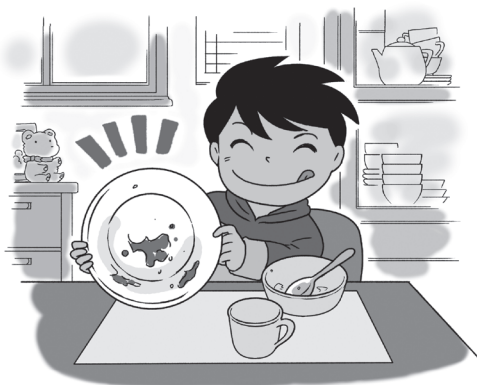
かんきょうもんだい かんが じぶん
環境問題について考えて、自分にできることをやってみましょう。

ものをたいせつにしよう

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前

1 ごみをへらすためには、どのようにくふうがあるかな？

のこさないで
ぜんぶたべたよ！



なくさないように
なまえをかいておこう



がっこうの
つくえやいすを
だいじにしよう



ノートはさいごのページまで
しっかりつかうよ



2 自分にできることをやってみよう。

Blank space for drawing or writing.